

1年2組 道徳だより

主題名 きまりを守って使う 内容項目 規則の尊重
教材名 「みんなの ボール」P.78～79
ねらい みんなで使うものを大切に扱おうとする心情を育てる。

①教材について

お昼休みの時間、学級のボールがなくなっていることに気づく。校庭に忘れてきたことが分かるが、それぞれが「知らない。」とか「ぼくだけじゃない。」と言って、大騒ぎになり、みんなで捜しに行くという内容である。公共物や公共の施設の使い方について、基本的なことを具体的に理解していく中で、どのような心構えが大切かを考えさせる教材である。

②授業の様子

- 「くにおさんが・・・」と言われて、くにおさんはどんなことを思ったでしょうか。
(子どもの意見)
 - ・ぼくだけのせいにしないで。
 - ・みんなも使っていたのに。

- 「ぼくも、わたしも」と校庭に飛び出していったみんなの気持ちを書きましょう。
(子どもの意見)
 - ・みんなのボールだから一緒に捜したほうが気持ちがいい。
 - ・ぼくたちのボールだからぼくたちが捜さなくちゃいけない。
 - ・私も使っていたから捜しに行く。

③振り返り

- みんなが使うものを気持ちよく使うためにはどんなことに気を付けたらよいのでしょうか。
(子どもの意見)
 - ・ルールを守って使う。
 - ・使ったものはもとの場所に片付ける。
 - ・譲り合う。
 - ・大事に使う。

④担任より

学校生活にも慣れてきた頃であり、本教材を通して、「きまりを守ること」について改めて考えるよいきっかけになったと思います。「ぼくも、わたしも」と校庭に飛び出していったみんなの気持ちを考える場面では、自分本位ではなく、みんなのことを考えた回答が多く、子供たちの優しさと成長を感じました。また、今までの自分を振り返る場面では、本や遊具などの公共のものを想起し、どのようなことに気を付けて使ったらよいかを考え、みんなで使うものを大切にしようとする意欲を高めることができました。4月から2年生になります。今回の学習を通して、きまりを守ることの大切さについて考え、「自分には関係がない」ではなく「みんなのために行動できること」を目標に、集団の一員としての自覚を深めていけたらいいと思います。